

自動車排気ガス測定局の現状

自動車排気ガス測定局（以下、「自排局」という。）については、日交通量（大、中、小）、大型車混入率及び周辺建物状況（1群から6群）を基に、都心部、周辺区部、多摩部の道路を54種類に類型化し、代表する道路に測定局を配置（沿道局）している。

なお、この類型は、1992（平成4）年6月「自動車排出ガス測定局の整備方針」による。

○日交通量の定義

日交通量	
大	5万台以上
中	3万台以上5万台未満
小	3万台未満

○群の定義

群	大型車混入率	周辺建物状況
1群	大（15%以上）	高層
2群	大（15%以上）	中低層密集
3群	大（15%以上）	中低層散在
4群	小（15%未満）	高層
5群	小（15%未満）	中低層密集
6群	小（15%未満）	中低層散在

2015（平成27）年度全国道路・街路交通情勢調査（箇所別基本表）の結果と照らし合わせ、沿道ごとの大型車混入率と日交通量の結果と上記表の群（周辺建物状況は不変と仮定）とを当てはめ、別表のとおり比較した。

下線の測定局は類型の変更があった自排局、灰色の部分は現行で該当する自排局があった類型を示す。都内交通量の減少に伴い、交通量「大」の測定局は2局のみとなっている（大型車混入率については大幅な変化は見られない。）。

(交通量減少の要因の考察)

交通量の減少については、次の要因が考えられる。

- ・三環状道路をはじめとする高速道路ネットワーク及び、区部放射・環状道路、多摩南北道路等の幹線道路ネットワークの整備により、通過交通量が減少した。
- ・都内の乗用車の自動車交通量が減少傾向にあることと、自動車保有台数、特に貨物車等が減少傾向にある。

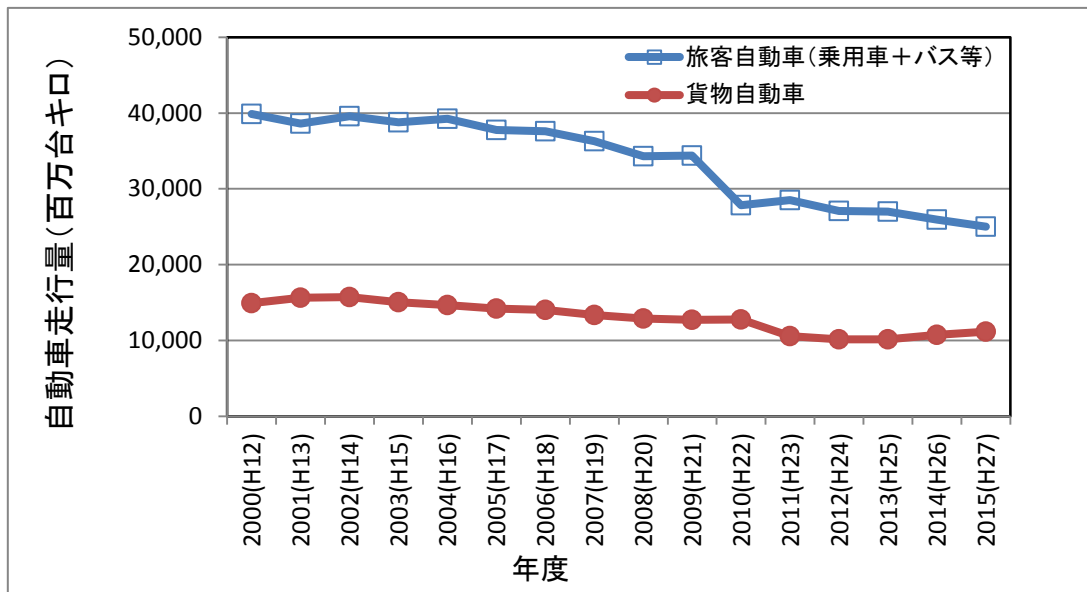


図1 都内自動車走行量の推移

(出典：東京都環境局)

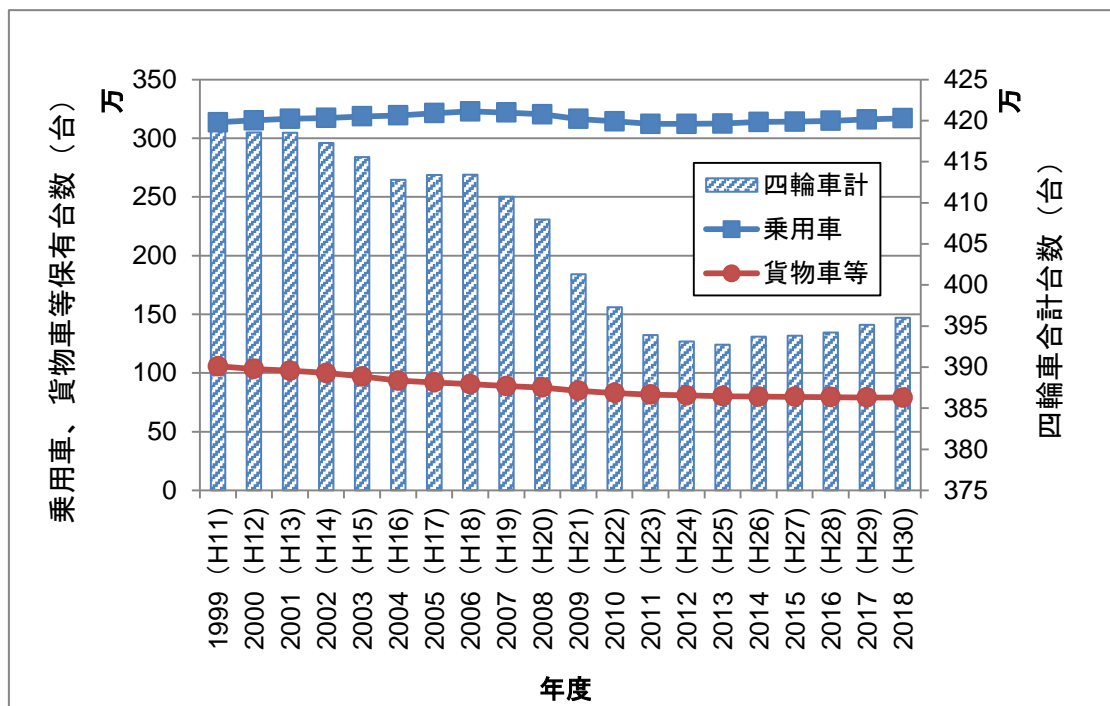


図2：都内四輪自動車保有台数

出典：(一財)自動車検査登録情報協会ホームページ

資料2-1 別表

現状 地域	群	日交通量		
		大	中	小
都心部	1群	永代通り新川		
	2群	水戸街道東向島		
	3群			
	4群	第一京浜高輪	明治通り西巢鴨	
	5群	明治通り大関横丁	春日通り大塚	
	6群	新目白通り下落合	山手通り東中野	
周辺区部	1群			
	2群	環七通り柿の木坂 日光街道梅島	北本通り王子	
	3群	環八通り八幡山	環七通り亀有 環八通り千鳥	
	4群			
	5群	京葉道路亀戸		
	6群	中原街道南千束		早稲田通り下井草
多摩部	1群			
	2群			小金井街道東久留米
	3群	東京環状長岡	甲州街道国立	川崎街道百草園
	4群			
	5群		甲州街道八木町	連雀通り下連雀
	6群	青梅街道柳沢	新青梅街道東村山	五日市街道武蔵境

2015交通センサス 地域	群	日交通量		
		大	中	小
都心部	1群		永代通り新川	明治通り西巢鴨
	2群			明治通り大関横丁
	3群			
	4群	第一京浜高輪		
	5群		水戸街道東向島	春日通り大塚
	6群		山手通り東中野 新目白通り下落合	
周辺区部	1群			
	2群		北本通り王子 環七通り柿の木坂・日光 街道梅島	
	3群	環八通り八幡山	環七通り亀有	
	4群			
	5群		京葉道路亀戸	
	6群		中原街道南千束 環八通り千鳥	早稲田通り下井草
多摩部	1群			
	2群			小金井街道東久留米
	3群		東京環状長岡 新青梅街道東村山	川崎街道百草園
	4群			
	5群			連雀通り下連雀 甲州街道八木町
	6群		青梅街道柳沢	五日市街道武蔵境 甲州街道国立